

先端技術イノベーション拠点の整備

— 新型ドローン、ロボット等の電気機器開発環境の整備 —

■ 研究担当 / 大分県産業科学技術センター 企画連携担当 主幹研究員 城門由人 yu-kido@oita-ri.jp

研究のポイント

- ドローンの飛行試験用フィールド、磁気シールドルーム、電波暗室等を整備し、県内企業の技術競争力強化と新分野進出を支援

背景と概要

大分県版第4次産業革命「Oita4.0」への取り組みである、「ドローン産業の成長促進」と「電磁応用産業の育成」を推進するため“先端技術イノベーションラボ”を新規に整備する。

ドローン産業・技術の拠点化、並びに、電磁応用機器関連の産業集積を加速し、地域外企業との連携強化等により地域企業の技術力向上を図り、ローカルイノベーションを創出する。

ドローン産業の推進

ドローン産業における西日本での拠点化

【背景】

- 産業科学技術センターでのドローン共同開発の実績
→ ドローンアナライザーの共同開発
→ プロペラの最適設計や業務用スペシャルドローンの開発支援など
- ドローン協議会の設置
→ 産業用ドローンのサービス、機体開発等企業との連携

【ドローン開発拠点整備】

- ドローン開発の拠点として電波暗室、テストフィールドなどの環境整備
- 測定・リサーチ棟とテストフィールドを隣接させることで開発期間を短縮
- リサーチルームには、ドローンの機体製造企業、ソフトウェア開発企業、利活用サービス提供企業などが入居し、センターと共同研究開発

電磁応用産業の育成

〈大分発〉世界最高水準の磁気測定技術 〈国内初〉ISO/IEC17025認定機関

国内初の標準磁気試験（規格測定）及び高精度磁気試験（先端測定）のISO/IEC17025認定試験所を目指す。

【背景】

- 標準磁気試験器に加え、独自に開発した高精度磁気試験器（特許取得）を整備
- 国内唯一の磁気特性測定拠点としての実績
- 国内大手企業と県内企業との電磁応用機器の共同開発

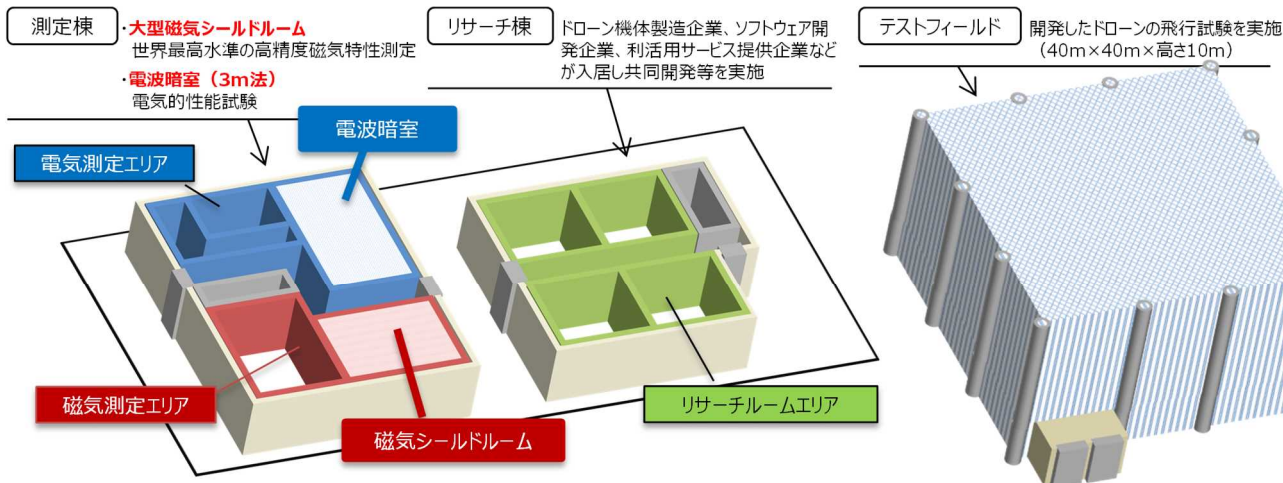
【磁気測定環境の整備】

- 磁気測定認証機関に必要な試験環境（磁気シールドルーム）を整備
- 電磁力応用機器開発（モーター、医療機器など）の拠点
- 県内企業の新たな分野進出を支援

地方創生 新しいしごとづくり

- 新型ドローン、ロボット等の電気機器の開発・製造
- 新型ドローン、ロボット等の電磁力応用機器向け高効率駆動装置などの開発
- 高度な産業人材（磁気測定やドローン・ロボット開発の技術者等）の育成

先端技術イノベーションラボ



大分県産業科学技術センター

<http://www.oita-ri.jp>



■ 担当窓口 / 企画連携担当 主幹研究員 城門由人 info@oita-ri.jp